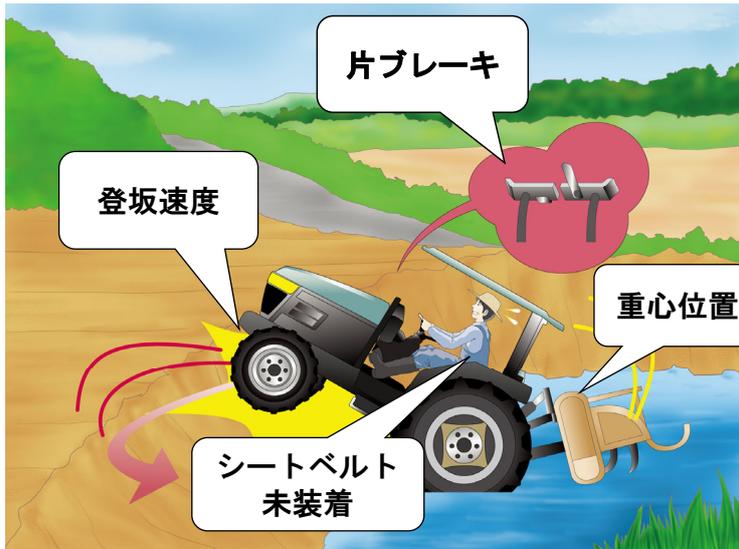


乗用トラクターの事故事例

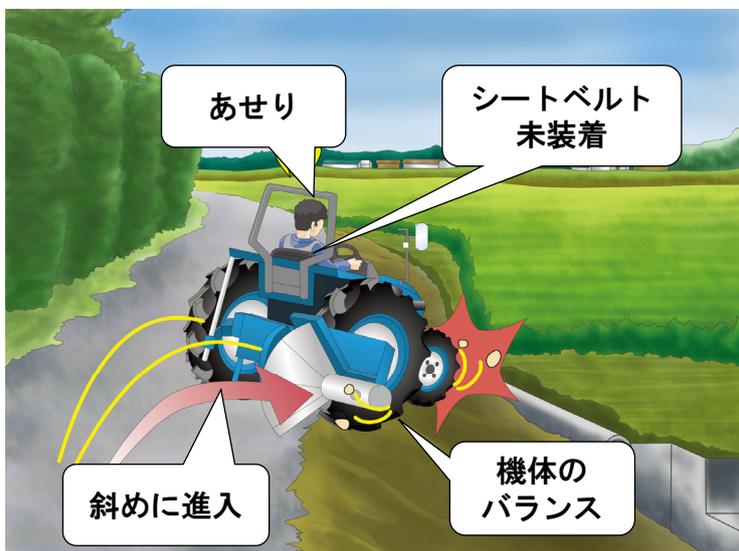


事故概要

代かき作業後、水田から道路へ出ようとして前輪が持ち上がったため、あわててブレーキを踏んだら、左へ急旋回して横転。車体から投げ出されて足を骨折。

原因

- ①ロータリーを上げていたため重心位置が上に移動していた。
- ②代かきの速度段のまま、エンジン回転速度も下げなかったため、登坂速度が速すぎた。
- ③ブレーキペダルを連結しておらず片ブレーキになった。
- ④シートベルトをしていなかった。

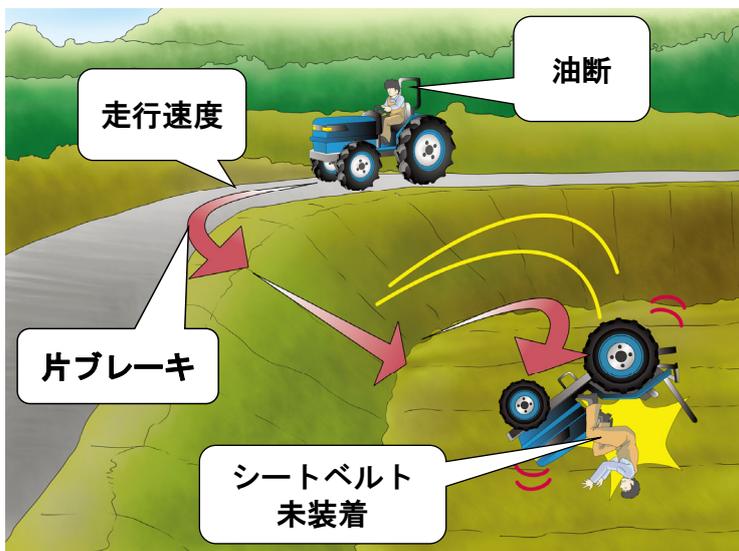


事故概要

あぜ塗り機を装着して、農道から1.5m下の水田に法面から斜めに入ろうとし、右側へ転倒。車体から投げ出されてU字溝の角で頭を打ち、頭蓋骨陥没で9ヶ月入院。

原因

- ①あぜ塗り機を装着して斜めに進入したため、機体のバランスが崩れた。
- ②雨が降り出して気があせり、作業位置に近いところから無理に進入した。
- ③シートベルトをしていなかった。



事故概要

水田を見回りに行く途中、緩い下り坂のカーブでブレーキを踏んだところ急旋回し転落。車体から投げ出され、後から落ちてきたトラクタで腰を強打。幸いにも下敷きにはならなかったが13日間の入院。

原因

- ①時速15kmなのでブレーキを連結せずとも問題ないと油断し、片ブレーキとなった。
- ②シートベルトを装着していなかった。

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）
農業機械研究部門（農機研）